

上尾国際教育センター  
総合日本語Ⅰ シラバス

**教育目標**

日本語教育の参照枠に基づき、生徒が日常生活における基本的な場面において、身近な事柄について簡単なやりとりを行い、必要な情報を理解・伝達することができる基礎的な日本語運用能力を身につけることを目的とする。

また、自分のことや身近な話題について、基本的な語彙や表現を用いて簡単に話したり、短い文で表現したりすることができる力を養う。

さらに、学習活動や振り返りを通して、自らの学習状況を把握し、継続的に学習に取り組む態度の基礎を養う。

**【総合日本語Ⅰ】**

A1 (初級Ⅰ)	メインテキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できる日本語 初級 (L1~L12)</li> <li>・漢字たまご 初級 (L1~L7)</li> </ul>
	副教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できる日本語 初級「わたしの文法ノート」</li> <li>・できる日本語 初級「わたしのことはノート」</li> <li>・教師作成教材など</li> </ul>

**到達目標 (Can-do)**

1. 自分の名前、出身、家族などについて、簡単な表現で話したり、短く発表したりすることができる。
2. 日常生活の基本的な場面（あいさつ、買い物、注文等）において、簡単なやりとりを行い、必要な情報を伝えたり受け取ったりすることができる。
3. ゆっくり話される簡単な会話や説明を聞き、必要な情報を理解することができる。
4. 短い文や簡単な文章を読み、内容の大意を理解することができる。
5. 基本的な語彙や表現を用いて、短い文を書くことができる。
6. 基本的な漢字語彙について、日常生活でよく使われる表示や短い文を読み、必要な情報を理解することができる。

**評価の観点**

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	学習した基本的な語彙や文法を理解し、「聞く・読む・話す・書く」活動において適切に運用できている。	身近な話題について、自分のことや経験を整理し、相手に分かりやすく伝えることができている。	自らの学習状況を振り返り、課題を把握しながら、目標に向かって継続的に学習に取り組もうとしている。

## 学習方法

1. 各課の場面や会話を通して学習内容を導入し、語彙・文型の理解と運用を図る。
2. 教師とのやりとり、ペア・グループ活動を通して、日常場面を想定した会話練習やロールプレイを行う。
3. 課の後半では、自分の生活や経験に基づくタスク活動を行い、実際のコミュニケーション場面での運用につなげる。
4. 学習した表現を用いて、短文の読み書きやまとめ活動を行い、理解と定着を確認する。
5. 文法ノートおよび語彙ノートを活用し、授業で学習した内容の整理・定着を図るとともに、宿題として取り組ませ、翌日の授業で確認を行う。
6. これらの活動を通して、他者とのやりとりや協働を伴う実践的なコミュニケーション能力の育成につなげる。
7. 各課終了時に振り返りを行い、学習内容の理解状況および課題を確認する。また、ポートフォリオを活用し、作文、課題、発表資料、評価結果等を記録するとともに、日本語能力自己評価ツール等を用いて自己評価を行い、到達状況を把握し、次の学習目標の設定につなげる。

## シラバス (196 単位時間の学習計画)

〈週 20 単位時間〉

学習内容・項目	学習のポイントと到達点	評価および学習支援
1. 自己紹介、家族、出身地、生活、予定、体調など身近な話題	・自己紹介や家族、出身地など、身近な話題について簡単に話することができる	・到達度評価(中間・修了)および熟達度評価を実施し、学習内容の定着状況を確認する
2. 買い物、注文、誘い、依頼、簡単な相談などの日常場面	・日常生活の基本的な場面(買い物、注文、誘い、依頼など)において、簡単なやりとりを行うことができる	・話す・書く活動については、ルーブリックを用いたパフォーマンス評価を行う。
3. 基本語彙および基本文型(肯定・否定、時制、助詞等)	・基本的な語彙や文型を理解し、日常場面で適切に使うことができる	・評価結果に基づき、学習内容の習得が不十分な生徒に対して補講を実施する
4. 基本的な会話のやりとり(あいさつ、質問応答等)	・ゆっくり話される簡単な会話や説明を聞き、必要な情報を理解することができる	・補講は、語彙・文型、読解、聴解等の技能別の課題に応じて実施し、基礎的な知識・技能の定着および実際の場面での運用力の補強を図る
5. ひらがな・カタカナおよび初級漢字(漢字たまご L1～L7)	・ひらがな・カタカナおよび基本的な漢字語彙を用いて、日常生活でよく使われる表示や短い文を読み、必要な情報を理解することができる	・補講は、通常授業期間の補習および長期休暇期間における集中的な指導を組み合わせる
6. ・短文レベルの読解および作文	・基本的な語彙や表現を用いて、短い文を書いたり、簡単な文章を読んだりすることができる	・補講後は確認課題やミニテスト等により理解状況を再確認し、到達状況を把握する
		・ポートフォリオを活用し、学習の振り返りおよび自己評価を行う。

【総合日本語Ⅰ】

A2 (初級2)	メインテキスト	できる日本語 初級 (L13-15) できる日本語 初中級 (L1-6)
	副教材	わたしの文法のノート初級・初中級 (該当課) わたしのことばノート (該当課) 漢字たまご 初級 (L8-15)

到達目標 (Can-do)

1. 身近な話題や自分の経験について、基本的な語彙・表現を用い、出来事の流れに沿って複数の文で説明することができる。
2. 日常生活に関する話題について、理由や気持ちを加えながら、自分の考えや経験を簡単に伝えることができる。
3. 日常生活における場面（道案内、予定の共有など）で、必要な情報をやりとりしながら、簡単な説明や応答を行うことができる。
4. 身近な話題に関する短い文章や会話を理解し、必要な情報や要点を把握することができる。
5. 自分の経験や身近な話題について、出来事の流れや理由を含めて、簡単な文章を書くことができる。
6. 学習活動や課題に主体的に取り組み、振り返りを通して自分の課題を把握し、改善に向けて取り組むことができる。

評価の観点

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	学習した語彙や文法を理解し、「聞く・読む・話す・書く」活動において、状況に応じて適切に運用できている。	身近な話題や日常生活の場面について、自分の考えや経験を整理し、簡単な理由や具体例を添えて相手に分かりやすく伝えることができている。	自らの学習状況を振り返り、課題を把握しながら、目標に向かって継続的に学習に取り組み、改善しようとしている。

学習方法

1. 各課の場面や会話を通して学習内容を導入し、語彙・文型の理解を深めるとともに、複数文での表現へと発展させる。
2. 教師とのやりとり、ペア・グループ活動を通して、日常場面におけるやりとりやロールプレイを行い、情報のやりとりや簡単な説明ができるようにする。
3. 課の後半では、自分の経験や意見を取り入れたタスク活動を行い、理由や気持ちを加えた表現へとつなげる。
4. 学習した表現を用いて、短い文章の読解や作文活動を行い、出来事の流れや理由を含めた表現の定着を図る。
5. 文法ノートおよび語彙ノートを活用し、授業内容の整理・定着を図るとともに、宿題として取り組み、翌日の授業で確認を行う。
6. これらの活動を通して、他者とのやりとりや協働を伴うコミュニケーション能力の向上を図る。

7. 各課終了時に振り返りを行い、ポートフォリオを活用して作文・課題・発表資料・評価結果等を記録し、自己評価を通して学習状況を把握し、次の学習につなげる。

シラバス (196 単位時間の学習計画)

〈週 20 単位時間〉

学習内容・項目	学習のポイントと到達点	評価および学習支援
1. 日常生活に関する話題（生活、予定、体調、経験など） 2. 道案内、予約、相談、依頼、比較などの場面 3. 基本語彙および文型（時制、理由、可能、比較等） 4. やりとりの発展（情報交換、説明、意見共有） 5. 初級漢字の拡張（漢字たまご 初級 L8～L15） 6. 短い文章の読解および複数文の作文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な話題や自分の経験について、出来事の流れに沿って複数の文で説明することができる</li> <li>・日常生活の場面において、必要な情報をやりとりしながら、簡単な説明や応答を行うことができる</li> <li>・理由や気持ちを加えながら、自分の考えや経験を伝えることができる</li> <li>・短い文章や会話を理解し、必要な情報や要点を把握することができる</li> <li>・語彙や文型を活用し、まとまりのある簡単な文章を書くことができる</li> <li>・基本的な漢字語彙を用いて、生活に必要な情報を読み取ることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・到達度評価（中間・修了）および熟達度評価を実施し、学習内容の定着と運用力を確認する</li> <li>・評価結果に基づき、習得が不十分な生徒に対して補講を実施する</li> <li>・補講は語彙・文型・読解・聴解等の課題に応じて行い、理解と運用の両面を補強する</li> <li>・補講は通常授業期間の補習および長期休暇中の集中指導を組み合わせて実施する</li> <li>・確認課題やミニテストにより理解状況を継続的に把握する</li> <li>・ポートフォリオを活用し、振り返りや自己評価を行い、学習の改善および主体的な学習態度の育成につなげる</li> </ul>